

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 総務-24 徴収事務					タイムスコード及び個別事業名			
						604	徴収事務		
主管課	納税課		関連課	市民税課 資産税課					
分野名	行財政運営								
目標 (目標値)	市税徴収率の目標を平成22年度に92.62%と設定しています(行政経営戦略プラン)。目標額としては、平成18年度から22年度までの5年間で8.5億円の増収を目標額としています。								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状況	決算値	15,164千円	15,766千円						
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	15,164千円	15,766千円						
	人員配置数	12.5人	11.5人						
	人件費	116,098千円	107,769千円						
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	131,262千円	123,535千円						
	市民1人当 りの経費	743円	700円						
	対象者1人 当りの経費								
	ベンチマーク (県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	平塚市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	鎌倉市		
	市税全体徴収率%	92.66	92.34	92.99	94.30	92.20			
	(4月末現在)								
							最終年度 (年度)		
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 財産調査の強化と滞納処分・・・滞納処分をすべき件数は膨大で、限られた職員の中でいかに効率よく行かかが課題である。進行管理を徹底し、組織的、計画的、積極的な滞納処分を進めることが課題である。							
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 1 早期着手・・・現年度のみ滞納者に対して、早期に催告書を発送し組織的な滞納整理を実施。 2 累積滞納者への対応・・・過去の経緯や折衝記録をふまえ、短期間で集中的な対応をすべき累積滞納者を中心として、滞納データの分析により出された優先順位に基づき折衝等を行った。並行して金融機関や他官庁等への実態照会により財産調査等を行い、差押等滞納処分を積極的に行った。また、神奈川県税務職員の短期派遣受入れにより、膠着化しつつある高額かつ処理困難案件の滞納処分に積極的に取り組んだ。							
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 滞納データの分析により出された優先順位に基づき組織的に一斉に折衝等を行ったが、その後同一滞納者に対する継続的かつ効果的なフォローアップ折衝等に不十分さが残った。							
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 3人の担当係長をチームリーダーとし、全体を3分割した地区チーム制の布陣で同一滞納者に対する継続的な折衝等を行うなど効果的なフォローアップ体制を確立させ、徹底した滞納処分を行うマネジメントの構築に努める。							
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性	歳入確保の観点から、市税徴収率の向上に努める。滞納処分の取組みをより一層強化し、市税負担の公平性の確保に努める。			評価結果	改善の必要性	滞納整理に積極的に取組み、徴収率の向上を図る。財政計画(年1.7億円増収)達成に引き続き努める。		
A	有				A	有			
課長名	松井 義憲				部名・部長名	総務部・小村 亮一			